

肌と心身の関係解明へ

弘大と資生堂 共同研究



共同研究講座のプレートを掲げる福田学長（左から2人目）と加治屋センター長（同3人目）

岩木健診データを活用

弘前大学と化粧品大手の資生堂（本社東京）は5日、共同研究講座「ビューティ

ウェルネス学研究講座」の設置開設式を行った。弘大の「岩木健康増進プロジェクト」健康診断のビッグ

データと資生堂の知見を合わせ、肌の状態と心や体内の状態との関係性を科学的に解明。心身ともに健康的なライフスタイルの提案を目指す。

資生堂によると、心や体内の不調は肌の状態に表れるほか、健康で美しい肌は幸福感や生活の質の向上につながる。研究講座では5年間かけて岩木健診のデータを解析し、化粧品やサプリメントなどの開発に役立てるほか、生活習慣改善の提案なども行う予定だ。

講座は4月に開設済みで、6月の岩木健診では資生堂が肌表面の「角層」の状態を調べる機器を導入した。

弘大医学部内で行われた開設式では、加治屋健太郎・資生堂みらい開発研究所

シーズ開発センター長が「岩木健診には膨大な種類のデータがあり、肌と（心身の健康と）の関係を網羅的に調べられる」、弘大の福田眞作学長は「新たな知見の誕生を期待している」と話した。（赤田和俊）